

報告 地元を作り直す時代

～人と仕事を取り戻す仕組みづくり～

◆講演会概要

現在の人口減少社会の中で、自分の暮らす地域がどうなっていくのかを客観的にとらえ、併せて全国の他市の事例も知る中で、まちづくりに大切なことは何か、どう進めていくかを考えていただくために12月5日「地元を作り直す時代～人と仕事を取り戻す仕組みづくり～」と題して講演会を実施しました。

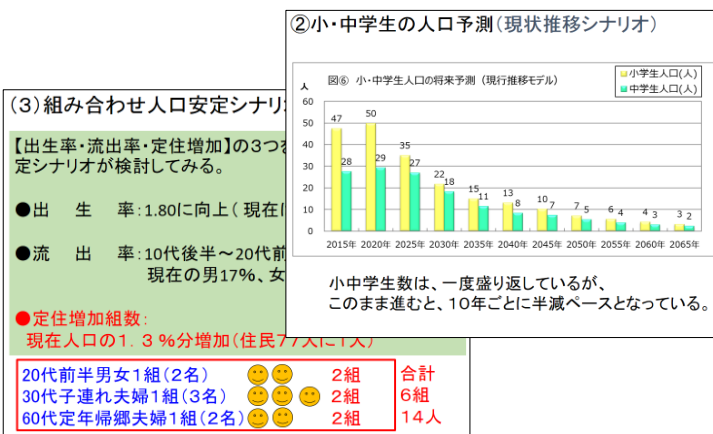


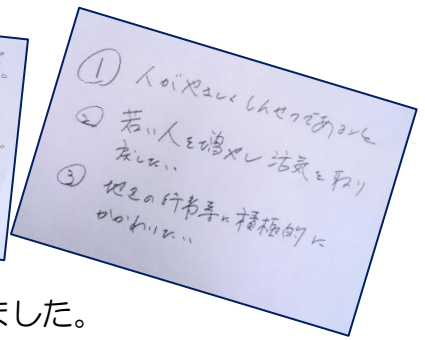
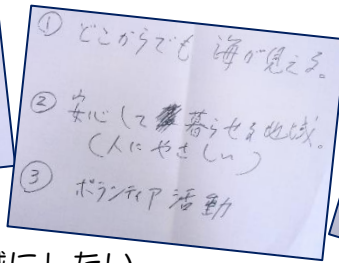
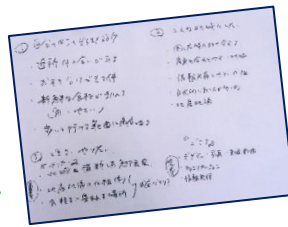
講師は、一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山 浩（ふじやま こう）さんです。30以上の都道府県の自治体で講演会やシンポジウムのほか、国・県のアドバイザーも務められておられます。



講演では、住民基本台帳に基づいたデータから5年おきの人口分析を行い、人口安定のための出生率・流出率・定住増加数の目標値を示されました。20代30代等若い世代のみ注目するのではなく、全体のバランスを見て増加目標を立てることが持続可能なコミュニティづくりにつながる。また、地域に日常生活に不可欠

な施設・機能や地域活動を行う場所を集約した「小さな拠点」を作り、そこを中心に地域のお金を地域の中で循環させる仕組みづくりがこれから重要になってくる。それを実現するためには根気強くみんなで話をしていくことが必要と話されました。





◆意見交流より

- ①自分の町の好きな所、②こんな地域にしたい、
- ③自分にできること・してみたいことを、班ごとに交流しました。

①自分の町の好きな所

- ・海あり、山あり、豊かな自然
- ・季節ごとの行事
- ・地域の人にあたたかさ など

②こんな地域にしたい

- ・世代を越えて集いあえる地域
- ・いまのままでよい
- ・豊かな町（心・経済的・持続可能）
- ・ここでの生活が楽しいと思える地域
- ・行事、役割をへらす など

③自分にできること・してみたいこと

- ・地域を横断した勉強会
- ・若い世代に仕事を作れたら…
- ・高齢者を元気にしたい
- ・地域の人々と縁をつなぐ
- ・無農薬、無化学肥料での農業
- ・楽しめること、盛り上げること
- ・地域の行事に積極的に参加する
- ・散歩のあいまに美化活動（ゴミ拾い）
- ・気軽に集まれる場所づくり
- ・地域に恩返し、恩送り など



◆アンケートより

【講演会について、感想や質問があればおしえてください】

- ・若い世代が地元に戻ってくる話し合いの場の大切さ。10年先、20年先を見据えてのデータ分析が大切。
- ・経済循環など新たな視点で地域の現状を見ていきたい。
- ・今後この勉強会をどう発展させていくのか気になる。

【なりたい地域のイメージに向けて、地域の声を聞くにはどのような方法がいいと思いますか】
井戸端会議から声を拾う、単位自治会別車座トーク、小さいカフェをしながら公民館などをめぐる、小グループの話し合いの積み重ね など



2021年1月以降、能登原学区・内浦学区・内海学区それぞれで、地域のみなさんの思いを聞く会を予定しています。今回出た意見も含め、どのような地域をめざしていくかの話をする場を作っていきますので、ご参加をお願いします。